

GOCCOPRO 100

導入事例のご紹介



製品を作るだけでなく
作業工程で大きな喜びが得られる。
それがゴッコプロを選んだ理由です

社会福祉法人 京都市山科障害者授産所
京都身体障害者福祉センター

所長 松原 直之 様

当授産所では、障がいのある方たちが豊かな日常生活を営むことができるよう、自立支援法に基づいた事業を運営しています。現在は、障がいのある20名が紙印刷や軽作業、清掃、自主製品制作などの作業をおこなっています。中でも開所以来、紙印刷に力を入れており、名刺や封筒、挨拶状、機関誌、年賀状印刷などに携わっています。文字入力からデザイン、編集、印刷、後加工まで一貫しておこない、大量注文にも対応しています。

ところがプリンターの普及やデジタル化の影響で、最近は紙印刷の売り上げが右肩下がりに。新しい事業を始めなければ、と考えたのが布素材への印刷でした。もともと当授産所ではグラフィックソフトを使ったデザイン制作が得意で、その強みを生かしながら布素材へ取り扱い範囲を広げようと考えたのです。しかしシルク印刷を始めるには製版が壁でした。外注の製版は1万円前後と高額です。そこで自分たちの手で製版ができないかと探していたところ、ゴッコプロ100に出会いました。パソコンからデータを送信し、ワンタッチ操作

で製版ができて、版のやり直しも簡単。暗室や水洗いの設備も不要です。実際にデモを見て「職員や障がいのある方たちにも使える」と思い、導入しました。現在はゴッコプロ100を活用して、手ぬぐいやエコバッグ、Tシャツなどの自主製品を制作。地元のバザーやセレクトショップで商品を販売しています。中でも伊勢木綿を使用した和柄手ぬぐいが30~50代の女性に売れています。伊勢木綿の素材とシルク印刷のマッチングも人気の理由でしょう。転写やインクジェットなどの製法に比べて、シルク印刷は製品としての仕上がりが素晴らしいです。

スクリーン印刷のワークショップにも活用

一番のメリットは、障がいのある方たちが職員の手を借りながらも、様々な作業工程に携われることです。彼らは自分で手がけたデザインの製版、スキージ、乾燥、プレスなどの作業を通じて、自分の手で商品を生み出すことの楽しさとやりがいを感じています。彼らは店員として商品販売を行うこともありますが、そのとき商品を手取るお客様の笑顔を見て、「喜んでもらえて嬉しい。もっと頑張りたい」と思うのです。

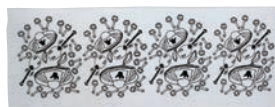
その頑張りが、さらに印刷技術の向上にも繋がっています。例えば長尺の手ぬぐいは同じデザインの版を4回連続して刷ることで味わい深い仕上がりに。また写真画像をデザインに取り入れるなど、仕事の幅も広

ゴッコプロ100 導入の決め手

- 1 暗室など設備が不要なので、低投資でスクリーン印刷がおこなえる。
- 2 PCの作成データがそのまま製版できる。お客のデータ入稿もスムーズ。
- 3 製版が手軽なので、原稿づくりから製品作りに携われる。

がっています。そうした商品作りがクチコミで広がり、最近は自主製品だけでなく団体・企業からノベルティグッズの受注も増え、売上げが伸びました。お客様が求めているニーズは10枚~100枚の少量注文。外注では割に合わない枚数ですが、ゴッコプロ100なら製版コストが安いので少ない枚数でも十分に利益が取れます。お客様がパソコンで作ったデータをそのまま製版できるのも便利です。作業がスムーズなので納期の面でも貢献しています。

2013年は当授産所が設立20周年を迎え、記念式典を開きましたが、そこでもゴッコプロ100が活躍。来賓の記念品としてオリジナルデザインの布バッグを作り、喜んでいただけました。今後は古典柄を使った布グッズを増やしていく他、一般のお客様を対象にしたスクリーン印刷のワークショップも実施していきます。これからもゴッコプロ100をもっと活用して、様々な場面に役立てていきたいです。



手ぬぐい

三重の伊勢木綿を使用した手ぬぐいに、メキシカンハットやマラカスなどのイラストをプリント。同じ版を用い、位置をずらしながら4回に分けて刷っている。



ブックカバー

伊勢木綿の素材にオリジナルデザインをプリント。イラストの細かい線も鮮明に印刷されている。



あづま袋

持ち手の部分を風呂敷敷のように結んで使う袋。木綿素材にプリント後、縫製した。

CORPORATE PROFILE

社会福祉法人 京都身体障害者福祉センター
京都市山科障害者授産所

〒607-8086 京都市山科区竹鼻四丁野町34-1
Tel:075-591-8771 Fax:075-591-8772
URL <http://www.normanet.ne.jp/~y-jusan/>



- 平成5年に開所した障がい者福祉施設。
- 働く意欲がありながら、雇用されることが困難な障がいのある方の為に、就労の機
- 会の提供と必要な訓練を行ない、社会的自立の支援を目的に活動している。現在
- は障がいのある20名の方々が印刷事業

や軽事業、清掃などの作業に従事。平成24年にゴッコプロ100を導入し、Tシャツ、手ぬぐいといった布製品をメインにKyoto YJ Printブランドで自主製品の制作・販売を行う。最近では企業などからの注文も増え、販路の拡大に成功。